

■田中稻城 文部官僚。帝国図書館設立を実現，その発展と館員育成に奮闘するも，最後は更迭された。“日本の図書館の父”。
たなか いなぎ
松下村塾・・・1856＝ 周防国で，岩国藩士末永家の三男に生まれ，田中家の養子となる。

桜田門外変・1860＝ 4歳：

薩摩藩士密航1865＝ 9歳：

明治維新・・・1868＝12歳：

藩校で漢学を，
英語学校で英語を学んだ後，

明治6年政変 1873＝17歳：

佐賀の乱・・・1874＝18歳：

初の民間工場1875＝19歳：東京開成学校に入学。

東京大学文学部和漢文学科に進学し，

明治14年政変1881＝25歳：卒業するとともに，東大文学部と法学部の准講師に任じられ，
新体詩抄・・・1882＝26歳：助教授に昇進するが，
岩倉具視没・1883＝27歳：

帝国大学始・1886＝30歳：文部一等属に任命され， 文部省本省に転属して，東京図書館の運営に従事。
文部書記官になると，
初の対等条約1888＝32歳： 図書館に関する学術修業のため米英留学を命じられ，アメリカのハーバード大学図書館等で研究し，ニューヨーク公共図書館等視察後，イギリスに渡り，大英博物館図書館等で経営の実務を学んで，

帝国憲法発布1889＝33歳：

帝国議会始・1890＝34歳：*帰国。帝国大学文科大学教授に続いて，東京図書館館長兼務を任じられ，
 欧米諸国に並ぶ本格的図書館の実現をめざし，
大本教・・・1892＝36歳： 日本文庫協会(日本図書館協会の前身)設立を發起，
郡司千島探検1893＝37歳： 東京図書館館長専任となる。森有礼文相の教育改革と日清戦争への軍備拡充で予算が大幅に削減されるなか，東京図書館の発展による国立図書館の整備をめざし，陳情活動・広報活動を積極的に行い，

日清戦争始・1894＝38歳：

日清戦争終・1895＝39歳：日清戦争後，
白馬会・・・1896＝40歳： 帝国議会両院で帝国図書館設立が建議され，
八幡製鉄始・1897＝41歳： *帝国図書館官制が公布されて，帝国図書館創立され，初代館長となる。同時に設置された帝国図書館新築設計委員にもなって，大図書館計画を提出するも，政府の財政難で大幅に縮小され，

子規句歌革新1898＝42歳：帝国図書館庁舎建設着工，
Bushidou・・・1899＝43歳： この年公布された図書館令の検討にも参画，
田中正造直訴1901＝45歳：

日露戦争終・1905＝49歳：

満鉄発足・・・1906＝50歳： *ようやく帝国図書館庁舎が竣工(現在の通称上野図書館)。
以後，さらに本格的な近代図書館とすべく，その発展に尽力するが，

韓国併合・・・1910＝54歳：

明治天皇没・1912＝56歳：

大正に入って書庫や閲覧室の不足が露わになってきても，増築の政府予算がつかず，

ベルサイユ条約・1919＝63歳：

原敬首相暗殺1921＝65歳： *図書館員教習所(図書館情報大学の前身)開設に際し，面積が大幅に不足していた帝国図書館内に教室を設けようとする文部省本省案を拒否して対立，事実上の更迭で退官に追いやられ，

治安維持法・1925＝69歳： 没した。